

**患者向け説明書：ムンプス(おたふくかぜ)予防接種** この説明書は、ムンプスワクチン接種を受ける方に必要な情報をまとめたものです。接種前に必ずご確認ください。

### **ムンプス(おたふくかぜ)とは**

- **原因:**ムンプスウイルスによる感染症。
- **感染経路:**飛沫感染や接触感染で広がります。
- **症状:**耳下腺の腫れと痛み、発熱、頭痛、倦怠感。
- **合併症:**髄膜炎、難聴、精巣炎(男性)、卵巣炎(女性)など。特に難聴は治療が難しく、後遺症が残ることがあります。

### **ワクチンの特徴**

- **種類:**弱毒化生ワクチン。接種後に体内でウイルスが増え、約 90%の人に抗体ができます。
- **接種回数:**通常 **2 回接種** が推奨されます。1 回目の接種後、通常 4 週間以上の間隔を空けて 2 回目を接種します。
- **効果:**発症予防効果は約 80~90%。重症化や合併症の予防にも有効です。

### **副反応について**

- **よくある副反応:**発熱、発疹、リンパ節の腫れ。
- **まれな副反応:**無菌性髄膜炎(自然感染より軽症で後遺症はほとんどありません)。
- **重大な副反応:**極めてまれですが、強いアレルギー反応(アナフィラキシー)が起こることがあります。

### **接種が推奨される方**

- 学校や集団生活を始める前の子ども。
- 医療従事者や教育関係者など、多くの人と接触する職業の方。
- ムンプスにかかったことがない成人で、特に妊娠を希望する女性(妊娠中は接種できません)。

### **接種前の注意**

- 発熱や体調不良がある場合は接種を延期することがあります。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある方は接種できません。接種後 2 か月は妊娠を避けてください。
- 他のワクチンとの接種間隔については医師に確認してください。

### **接種後の注意**

- 接種当日は激しい運動や飲酒を控えてください。
- 発熱や発疹が出ることがありますが、多くは数日で改善します。
- 強い症状が続く場合は速やかに医師へ相談してください。

### **まとめ**

ムンプスは難聴などの重い合併症を引き起こす可能性がある感染症です。ワクチンは安全性が高く、2回接種することで十分な免疫を獲得できます。お子さんの健康を守るため、定期接種の時期に忘れずに受けましょう。

この説明書は一般的な情報です。詳細は必ず医師・医療機関にご相談ください。

副反応確認のため、接種後20分間体調確認をさせていただきます。

帰宅後、体調の変化などがございましたら下記にお問い合わせ下さい。

秋田赤十字病院 電話 018-829-5000(代表)

平日(8:30-16:30)は予防接種センターでの対応、それ以外の時間帯は救急外来での対応となります。